

第1講義

微小プラスチックによる海・湖・魚の汚染は今？

講師 田中周平氏（京都大学大学院環境学堂）

詳細は裏面参照

第2講義

身近に潜むアスベストの危険

講師 榊原洋子氏（愛知教育大）

・アスベストとは？

・スマホを使って

アスベストの簡易観察法

学びましょう…

第23回環境学校



生活の中から

環境問題を考える

開校日：2018年9月15日(土)

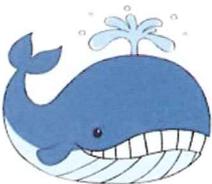
13:30～16:30

会場：大阪民医連 会議室

地下鉄堺筋本町駅 9番出口

資料代 500円

学生さん無料



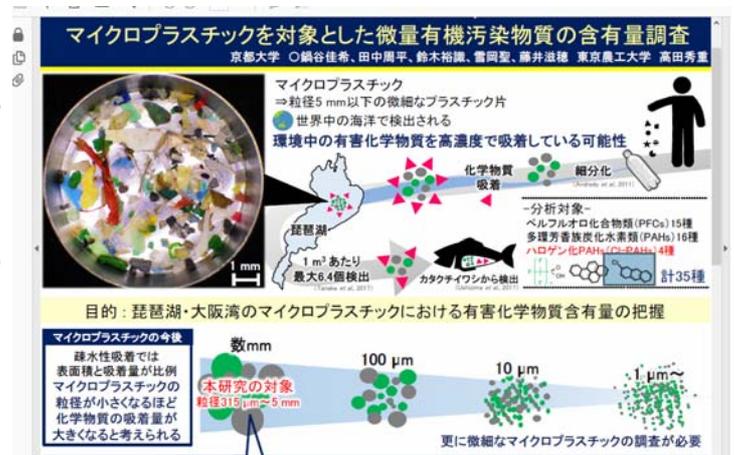
『微小プラスチックごみによる海・湖と魚の汚染はいま?』

講師: 田中周平氏(京都大学大学院地球環境学堂 准教授)

田中氏は、2015年に本研究をスタートさせ、これまで、大阪湾や琵琶湖などから20種類を超えるマイクロプラスチックを発見しています。比較的大きなプラスチックゴミはこれまでも広く行われてきましたが、「マイクロプラスチック程度の大きさの物質は見過ごされてきた」ことに着目して測定してこられたことなどをご紹介します。



日本化粧品連合会が洗顔剤等のマイクロビーズの自主規制を開始



(休憩 14:50~15:00)

『身近にひそむアスベストの危険』

「アスベスト問題とは?」

講師 伊藤泰司氏(大阪から公害をなくす会)

「スマートフォンを使ったアスベストの簡易観察法を身につけよう」

講師 榊原洋子氏(愛知教育大学准教授)

伊藤氏は、アスベストについて何が問題か、これまでの経過をやさしい内容で紹介。

榊原氏は、「スマホでできる簡易検査法」では、「スマホで顕微鏡」は3000円。スライドガラス、カバーガラス、トリアセチンで検体をつくり、偏光フィルムで挟んで観察。繊維一本は見えないが、繊維の束がみえる。アスベストは結晶体なので光る。グラスファイバーや代替品のロックウールは光らない。少なくとも「これはクサイ」と判断できる。



K 高校 渡り廊下の青石綿



スマホで微細な石綿の観察方法